

大項目	1	健康福祉事業
質問事項	(1)古河市の子どもから高齢者への取り組みについて ①古河市の図書館及びコミュニティセンター(地域交流センター)にカフェの隣接を提案 ②子どもから高齢者まで集まれるカフェを提案。カフェで雇用する人は高齢者の方で高齢者の活性化及びコミュニケーションをはかる。	

答弁内容 I	<p>永塚議員の子どもから高齢者まで集まれるカフェについての提案にお答えさせていただきます。 永塚議員のご提案は「地域共生社会」を目指していこうとする市の考え方と共通していると思います。 高齢者や子育て世代の方々が、地域から孤立して、必要な支援が届きにくくなってきている課題は、古河市にもありますが、身近な地域の中で、互いが「支え合い」・「助け合う」共助による活動の支援や「地域力」の強化・充実を図ることで対応しております。</p> <p>公共施設へのカフェを設置することについては、いくつ制約があり、難しい部分もあるかと思いますが、共助活動として地域の方々同士によるカフェの実施・運営であれば、市として側面的に支援していくことは可能です。具体的な内容については、担当部長より説明させていただきます。以上答弁とさせていただきます。</p> <p>永塚議員の(1)古河市の子どもから高齢者への取り組みについてのうち①古河市の図書館及びコミュニティセンター(地域交流センター)にカフェの隣接の提案についての質問にお答えいたします。 図書館及びコミュニティ(地域交流センター)の高齢者が利用していないのではないかとのご指摘について、高齢者の利用状況をお答えします。 図書館については、令和元年度利用者70,149人のうち60歳以上が27,746人で、39.6%約4割となっており、多くの高齢者が利用されていると考えています。 地域交流センターにつきましては、年齢別統計はございませんが、令和元年度利用者は76,548人で、この半数以上の方が高齢者と認識しております。 次に図書館や地域交流センターに、子どもと高齢者が集えるカフェを作る計画はありますかとの質問につきましてお答えします。 既存施設へのカフェの増設については、当施設等では、静寂性が求められることが多いことやスペース等からも難しいと考えており計画はございません。 しかし、永塚議員のおっしゃる通り、子どもとお年寄りの交流は、子どもには、より豊かな生活の知恵や思いやりの心を、お年寄りには、子どものパワーを授かり生きがいを見つけるなど、自然と生きる力の向上につながると思います。 公民館や地域交流センターでは、2世帯交流の場にもなっていると考えられる講座を行っておりますが、子どもとお年寄りの交流につながる講座はございませんでしたので、今後は、永塚議員の意見を参考に企画できないか検討していきたいと思っております。以上答弁といたします。</p>
--------	---

【取組状況 I】

<p>図書館や地域交流センターへのカフェの増設については、静寂性が求められることが多く、また、スペース等からも難しいと考えており現在も計画はございません。 公民館や地域交流センター等では、例年「まなびピアこが」講座を前期・後期の2回に分け企画しているところですが、昨今の新型コロナウイルス感染症の流行により、講座を開講することができませんでした。今後も引き続き、世代を超えた交流につながる講座の検討をまいります。</p>
--

答弁内容 II	<p>「カフェを公共施設に設置して」という部分は、地域の方々同士による「共助の活動」としてのカフェの実施・運営であれば、市として側面的に支援していくことは可能。 古河市と古河市社会福祉協議会とが側面的に支援するもので、これまでも、自治会・行政区・(20地区に分けた)コミュニティなどに対して、いわゆる「サロン」、「カフェ」、「集いの場」、「買い物支援」、「見守り」などを始めてみませんか、というご案内をしてきた。 福祉推進課では、上記の事業(地域力強化推進事業)を古河社協に委託して実施している。</p>
---------	--

【取組状況 II】

<p>・「カフェを公共施設に設置して」という部分への対応 令和2年度の「地域力強化推進事業」の実績 ・行政自治会が実施する予定のサロン、カフェ、住民同士の交流を図る場の立ち上げ支援件数 11件</p> <p>令和3年度の「地域力強化推進事業」の実績 ・行政自治会が実施する予定のサロン、カフェ、住民同士の交流を図る場の立ち上げ支援 2件(令和4年1月末現在)</p>
---

答弁内容 III	<p>高齢者や子育て世代の方々が、地域から孤立して必要な支援が届きにくくなってきているという課題に対し、古河市では、共助による活動の支援や、地域力の強化・充実を図ることで対応しております。 カフェを公共施設に設置することは幾つかの制約があり難しい部分もありますが、地域の方々の共助の活動であれば、地域力を高める取り組みとして、市が側面的に支援していくことは可能です。 現在、お年寄りが集まれる場所としましては、各老人クラブの自主事業や社会福祉協議会が活動を支援しているいきいきふれあいサロンが市内58か所、地域で運営しているカフェが1か所ございます。新型コロナウイルス感染症の影響で活動を休止しているところも複数ありますが、引き続き支援してまいります。</p>
----------	--

【取組状況 III】

<p>「お年寄りの集まれる場所」の現状 お年寄りの集まれる場所としましては、各老人クラブの自主事業や、社会福祉協議会が活動を支援しているふれあいいきいきサロンがあります。 老人クラブについては、地区単位でのグランドゴルフ大会、輪投げ大会などは行われているところがありますが、単位老人クラブごとの活動は、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けている現状です。 ふれあいいきいきサロンは、市内に53か所あり、そのうち数か所については、新型コロナウイルス感染症の影響がある中でも、感染対策を徹底した上で、屋外での開催・時間の短縮・飲食をしない、などの工夫をして開催しています。</p>
---